

【資料2】

令和3年5月31日「奄美群島新ビジョン（仮称）」の策定について
（奄美群島市町村長会会長コメント）

これまで奄美群島では、奄美群島成長戦略ビジョンに基づき、高い流通コストや外海離島としての地理的な不利性、情報通信基盤の格差等の様々な課題の改善に向け取り組んでまいりました。

その中で、国・県・関係機関におかれましては奄美群島振興交付金の創設により、航空運賃や輸送コストの低減化等に向けた取り組みをご支援頂いたことに感謝申し上げます。

この度、奄美群島市町村長会において、奄美群島成長戦略ビジョンに続く、奄美群島の振興に向けた指針を作成するため、奄美群島新ビジョンの策定に取り組むことを決定いたしました。

IUCN勧告をうけ世界自然遺産登録に弾みがついた今、奄美群島内には国立公園を含む豊かな自然を有しております。後世に自然を引き継ぐとともに、更なる条件不利性の改善を図り、交流人口の拡大や産業振興、定住促進に向けた環境を群島内全体に拡充する必要があり、10年後、20年後を見据えた非常に重要な作業であると認識しております。

新型コロナウイルス感染症の1日も早い収束を願いつつ、この難局を乗り越え、群島民が幸せに生活できる地域の実現、持続可能な社会・地域づくりを目指し、奄美群島12市町村が一丸となって取り組みを進めてまいります。

奄美群島市町村長会会長 高岡 秀規